

教科(科目)	英語	単位数	5 単位	学年(コース)	1 学年
使用教科書	三省堂『NEW CROWN English Series1』 / 『NEW CROWN English Series2』				
副教材等	文理『中学必修テキスト①②』 文理『WinPass 英語1年/ WinPass 英語2年』				

1 学習目標

- (1) 英語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどを理解するとともに、これらの知識を実際のコミュニケーションにおいて活用できる技術を身に付けるようにする。
- (2) コミュニケーションを行う目的や場面、状況などにおいて、英語で簡単な情報や考えなどを理解したり、これらを活用して表現したり伝え合ったりすることができる力を養う。
- (3) 聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら主体的に英語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。

2 指導の重点

- ① 学んだ語彙、文法を用いてコミュニケーションを図れるようになるために、単語テストや単元テストを定期的に行いながら習得を目指します。
- ② 学習した内容を用いて、自らの考えや感じたことを表現できる場面を設定します。
- ③ ペア活動や班活動通じて積極的にコミュニケーションを図る態度を育てます。

3 評価規準と評価方法

	評価は次の観点から行います。		
	知識・技能 a	思考・判断・表現 b	主体的に学習に取り組む態度 c
評価の観点	<p><知識> ・英語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどを理解している。</p> <p><技能> ・英語の特徴や決まりを理解し、「話題」について読む・聞く・話す・書く技能を身につけて活用している。</p>	<p>・目的などに応じて、「話題」について簡単な語句や文を用いて話したり書いたりして伝え合おうとしている。</p> <p>・目的などに応じて書かれたり聞いたりした文章から、必要な情報を捉えている。</p>	<p>・コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じ、見通しを持ち取り組み、自らの学習について振り返り、認識しようとしている。</p>
評価方法	以上の観点を踏まえ、定期考査/単語テスト/単元テスト/パフォーマンステスト/リスニングテスト/提出物（ワークシート）/授業中の見取りなどから、評価します。		

4 学習計画

月	単元名	授業時数 (と領域)	教材名	学習活動(指導内容)	評価の 観点	評価方法
4	Starter 1 Starter 2 Starter 3	4	英語の文字と音 コミュニケーションを楽しもう(1)(2)	小学校で学んだアルファベットと文字の読み方を振り返る。 小学校で学んだ身近なことについて表現する。	b, c	提出物（ワークシート） 授業中の見取り
	Lesson1	13	About Me	be 動詞と一般動詞の現在形（肯定文・疑問文・否定文）を理解する。 What…? の意味や働きを理解しそれを用いて表現する。	a, b	提出物（ワークシート）

5	Lesson2	13	English Camp	<p>・助動詞 can の肯定文・否定文・疑問文を理解し、それを含む英文を話したり伝え合ったり、正確に書いて表現する。</p> <p>How many ~?の意味や働きを理解し、それをを用いて表現する。</p>	a, b	提出物 (振り返りを含むワークシート)
6	定期テスト	13	Our New Friend	<p>be 動詞 (3人称) の肯定文・否定文・疑問文を理解し、それを含む英文を話したり伝え合ったり、正確に書いて表現する。</p> <p>Who is this?や人称代名詞 (目的格) を用いて英文の内容を読み取る。</p>	a, b	提出物 (振り返りを含むワークシート)
	Take Action Listen1			2	商品の説明	<p>学校に通うための自転車を買うために、商品の説明を聞いて必要な情報を捉える。</p>
7	Reading for Information1	2	文具店のチラシ	<p>決まった予算の中で誕生日プレゼントを買うために、文具店のセールについて書かれたチラシを読んで、必要な情報を捉えようとしている。</p>	a	提出物 (振り返りを含むワークシート)
8	Lesson4	13	My Family, My Hometown	<p>3人称単数現在形の肯定文・疑問文・否定文を理解し、それを含む英文を話したり伝え合ったり、正確に書いて表現する。</p> <p>Which~?を用いて好みを伝えたり答えたり表現する。</p>	a, b	提出物 (振り返りを含むワークシート)
	Take Action Listen2		2	競技場のアナウンス	<p>競技場で流れる注意事項についての英語を聞いて、要点を捉える。</p>	b
9	定期テスト	13	School Life in the U. S. A	<p>現在進行形の肯定文・否定文・疑問文を理解し、それを含む英文を話したり伝え合ったり、正確に書いて表現する。</p>	a, b	提出物 (振り返りを含むワークシート)
	Lesson5			2	映画の紹介	<p>映画の紹介について話された英文を聞いて、概要を捉える。</p>
10	Lesson6	13	Discover Japan	<p>一般動詞 (規則・不規則) の過去形の肯定文・疑問文・否定文を理解し、それを含む英文を話したり伝え合ったり、正確に書いて表現する。</p>	a, b	提出物 (振り返りを含むワークシート)
	Reading for Information 2	4	観光マップ	<p>おすすめの場所を提案するために、わかば駅周辺の施設やお店について書かれた観光マップをよん</p>	c	生徒間の相互評価を含むワークシート

	Take Action Listen3	2	ボイスメッセージ	で、必要な情報をとらえようとしている。 誕生日パーティーの打ち合わせについて話された英文を聞いて必要な情報を捉える。	b	リスニングテスト
<u>11</u>	定期テスト Project2 Lesson7	 3 13	 英語のタウンガイドを作ろう Wheelchair Basketball	 自分たちの町の魅力を発信するために、おすすめの場所について事実や自分の考えを整理し、簡単な語句や文を用いてまとまりのある文章を書こうとしている。 be 動詞の過去形の肯定文・疑問文・否定文を理解し、それを含む英文を話したり伝え合ったり、正確に書いて表現する。	 a, b a, b a, b	 生徒間の相互評価を含むワークシート パフォーマンステスト 提出物（振り返りを含むワークシート）
<u>12</u>	Lesson8	13	Green Festival	助動詞 will の過去形の肯定文・疑問文・否定文を理解し、それを含む英文を話したり伝え合ったり、正確に書いて表現する。 be going to の過去形の肯定文・疑問文・否定文を理解し、それを含む英文を話したり伝え合ったり、正確に書いて表現する。	a, b	提出物（振り返りを含むワークシート）
<u>1</u>	Project3	4	大切なものを紹介しよう	自分の大切にしているものについて、事実や自分の考えを整理し、簡単な語句や文を用いて話そうとしている。	c	パフォーマンステスト
<u>2</u>	定期テスト Reading For Fun	 6	 Alice and Humpty Dumpty Enjoy Sushi	 物語のおおまかな流れを理解し、概要を捉えようとしている。	 a, b a	 提出物（振り返りを含むワークシート）
<u>3</u>	Lesson1	13	Fun with Books	接続詞を理解し、それを含む英文を話したり伝え合ったり、正確に書いて表現する。	a, b	提出物（振り返りを含むワークシート）

計150時間（55分）

5 課題・提出物等

- ・ 単元ごとにテスト（語彙、表現）があります。
- ・ 単元ごとに、振り返りシートを記入し、提出することとなります。
- ・ 長期休業中の課題は別途指示します。

6 担当者からの一言

英語は、英語を学ぶだけでなく、コミュニケーションの仕方や異文化など学びが広がっていく教科です。たくさん勉強して力をつけ、英語を学ぶことが楽しいと思えるように一緒に頑張っていきましょう。

(英語)

令和6年度シラバス

新潟市立高志中等教育学校

教科(科目)	英語	単位数	5単位	学年(コース)	2学年
使用教科書	NEW CROWN English Series 2 (三省堂) NEW CROWN English Series 3 (三省堂)				
副教材	中学必修テキスト英語2 三省堂版[NEW CROWN]準拠(文理) 中学WinPass英語2年(文理)				

1 学習目標

<p>(1) 外国語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどを理解するとともに、これらの知識を、聞くこと、読むこと、話すこと、書くことによる実際のコミュニケーションにおいて活用できる技能を身に付けるようにする。</p> <p>(2) コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題について、外国語で簡単な情報や考えなどを理解したり、これらを活用して表現したり伝え合ったりすることができる力を養う。</p> <p>(3) 外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・CEFR-J A1.3 (英検3級、GTEC 5 1 0点) レベル ・教科書の「Words」に出てくる語彙を日本語から英語に変えられる。 ・教科書「基本文」に出てくる文を日本語から英語に変えられる。 ・教科書の「GET」の中の「Speak」/「Talk」/「Write」に出てくる質問に対して2・3文程度の英文で答えられる。 ・教科書の付録1 9にある「不規則動詞活用表」にある動詞の活用日本語から英語に書ける。 ・教科書の付録2 1にある「形容詞・副詞比較変化表」にある比較変化を日本語から英語に書ける。 ・やり取りにおいて、「Project 3」の「Idea Box」の表現を活用できる。

2 指導の重点

<ul style="list-style-type: none"> ・基本的な語句や文型を身に付けさせるために、家庭学習と小テストを連動させる。 ・学習したことを活用し、自分が伝えたいことを工夫して伝える場と状況を設定する。 ・ペアやグループ活動を取り入れ、積極的にコミュニケーションを図る雰囲気を作る。
--

3 評価規準と評価方法

〔評価規準〕 評価は次の3観点で行います。		
①知識・技能 a	②思考・判断・表現 b	③主体的に学習に取り組む態度 c
<p><知識></p> <ul style="list-style-type: none"> ・英語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどを理解している。 <p><技能></p> <ul style="list-style-type: none"> ・聞くこと、読むこと、話すこと、書くことによる実際のコミュニケーション場面において、言語材料を活用することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・目的などに応じて、「話題」について書かれたり聞いたりした文章から、必要な情報を捉えている。 ・目的などに応じて、「話題」について内容を整理し、簡単な語句や文を用いて伝えたり、相手からの質問に答えたりしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・目的などに応じて、「課題」について書かれたり聞いたりした文章から必要な情報を捉えようとしている。 ・目的などに応じて、「課題」について内容を整理し、簡単な語句や文を用いて伝えたり、相手からの質問に答えようとしている。
〔評価方法〕 定期考査／小テスト／単元テスト／パフォーマンステスト／リスニングテスト／提出物(ワークシート)／授業中の見取り など		

4 指導計画

月	単元名	時数	教材	主要学習領域	学習活動(指導内容)	評価の観点
				読むこと、聞くこと 書くこと 話すこと(やりとり) 話すこと(発表)	【年間を通じた共通指導内容】 各レッスンの課題について、適切に概要や要点をとらえる。 内容を把握し、情報や考えについて簡潔に書く。 内容を把握し、情報や考えについてまとめ、発表する。 内容に基づいて、考えを伝え合う。	
4	Lesson 1	13	教科書 (New Crown 2)	言語材料: 接続詞(when, if, that)/May I~?	題材内容: ビーターラビットの物語を通して、大まかな物語の流れや登場人物の気持ちについて学ぶ。言語活動: 大まかな物語の流れや登場人物の気持ちをまとめる。言語の働き: 説明する/相づちを打つ/褒める/質問する/仮定する/礼を言う 評価活動: 物語の朗読/ユニットテスト・単語テスト	b,c / a,c
5	Lesson 1,2	17		言語材料: 不定詞/It is ... (for A) to do.	題材内容: スピーチ原稿を通して、登場人物の将来の夢について学ぶ。言語活動: 登場人物の将来の夢について、概要をまとめる。 言語の働き: 説明する/繰り返す/質問する/相づちを打つ/褒める 評価活動: 将来の夢を紹介するスピーチ/ユニットテスト・単語テスト	b,c / a,c

6	Lesson 2,3 Project 1	20		<p>言語材料: There is- / 動名詞 / must, must not</p> <p>題材内容: 雑誌の記事を通して、霧などの自然の利用方法について学ぶ。言語活動: 言語の働き: 話しかける / 説明する / 質問する / 相づちを打つ 評価活動: イベントの催し物に関するディスカッション / 身近な町についての興味のあるやりとり / ユニットテスト・単語テスト</p>	b, c / b, c / a, c
7	Lesson 3,4	18		<p>言語材料: 動詞(give など) + A + B / 動詞(make, call など) + A + B / have to, don't have to</p> <p>題材内容: ガイドブックにあるコラムなどを通して、オーストラリアのウルルとアナング族について学ぶ。言語活動: オーストラリアにあるウルルについて、概要をまとめる。言語の働き: 質問する / 説明する / 相づちを打つ 評価活動: 行ってみたい国に関するエッセイ / ユニットテスト・単語テスト</p>	b, c / a, c
8	Lesson 4	4		<p>言語材料: 動詞(give など) + A + B / 動詞(make, call など) + A + B / have to, don't have to</p> <p>題材内容: ガイドブックにあるコラムなどを通して、オーストラリアのウルルとアナング族について学ぶ。言語活動: オーストラリアにあるウルルについて、概要をまとめる。言語の働き: 質問する / 説明する / 相づちを打つ 評価活動: 行ってみたい国に関するエッセイ / ユニットテスト・単語テスト</p>	b, c / a, c
9	Lesson 4,5	16		<p>言語材料: 比較級 / 最上級</p> <p>題材内容: 海外にある姉妹からの e メールなどを通して、外国人が日本で体験したいことについて学ぶ。言語活動: 外国人が日本で体験したいことについて、概要をまとめる。言語の働き: 説明する / 相づちを打つ / 質問する / 意見を言う / 誘う / 報告する 評価活動: 日本の中学生の間で人気のあるものについてのレポート / ユニットテスト・単語テスト</p>	b, c / a, c
10	Lesson 5 Project 2	21		<p>言語材料: 疑問詞 + to</p> <p>題材内容: 海外にある姉妹からの e メールなどを通して、外国人が日本で体験したいことについて学ぶ。言語活動: 外国人が日本で体験したいことについて、概要をまとめる。言語の働き: 説明する / 相づちを打つ / 質問する / 意見を言う / 誘う / 報告する 評価活動: アンケート結果に基づいた修学旅行先の提案 / ユニットテスト・単語テスト</p>	b, c / a, c
11	Lesson 6	17		<p>言語材料: 現在完了形 (継続用法)</p> <p>題材内容: ウェブサイトの記事などを通して、中国のお土産について学ぶ。言語活動: 中国茶の歴史や製法について、その概要をまとめる。言語の働き: 説明する / 描写する / 質問する / 相づちを打つ / 褒める 評価活動: お礼の言葉とお土産の説明をカードに書く。 / ユニットテスト・単語テスト</p>	b, c / a, c
12	Lesson 7	16		<p>言語材料: 現在完了形 (完了用法) / 現在完了形 (経験用法)</p> <p>題材内容: 英字新聞のインタビュー記事などを通して、日本と外国の文化の違いについて学ぶ。言語活動: 海外で落語を講演する際にするべき工夫について、その概要をまとめる。言語の働き: 話しかける / 説明する / 質問する / 相づちを打つ / 誘う / 意見を言う 評価活動: ALT へのインタビュー / ユニットテスト・単語テスト</p>	b, c / a, c
1	Lesson 7	19		<p>言語材料: 現在完了形 (完了用法) / 現在完了形 (経験用法)</p> <p>題材内容: 英字新聞のインタビュー記事などを通して、日本と外国の文化の違いについて学ぶ。言語活動: 海外で落語を講演する際にするべき工夫について、その概要をまとめる。言語の働き: 話しかける / 説明する / 質問する / 相づちを打つ / 誘う / 意見を言う 評価活動: ALT へのインタビュー / ユニットテスト・単語テスト</p>	b, c / a, c
2	Project 3	11		<p>題材内容: ウェブサイトに掲載された意見などを通して、わかば市で行うべきイベントについて学ぶ。言語活動: わかば市ではどんなテーマでイベントを行うべきか話し合う。 評価活動: 身近な地域で行うべきイベントについてのディスカッション / 単語テスト</p>	b, c / a, c
3	Starter Lesson 1	9	教科書 (New Crown 3)	<p>言語材料: 現在完了進行形</p> <p>題材内容: ブログの記事などを通して、紹介されている曲の良さについて学ぶ。言語活動: "Standby Me" が持つ良さについて、その概要をまとめる。言語の働き: 質問する / 説明する / 相づちを打つ / 褒める / 意見を言う / 描写する 評価活動: 世界の中学生に聞いてほしい曲についてのスピーチ / ユニットテスト・単語テスト</p>	b, c / a, c

計 181 時間 (55 分)

5 課題・提出物

・課題や提出物については、その都度指示します。

6 担当者からの一言

この教科では、さまざまなテキストジャンルの英文を用いながら、話すこと・聞くこと・書くこと・読むこと、これら4つの技能を育成していきます。1年生の時と比べ、より多くの表現を理解し、表現できるようになります。日々の授業の中で自身の成長を実感しながら、英語に対する学びを深めていきましょう。

(担当: 佐藤一輝)

教科(科目)	英語	単位数	5単位	学年(コース)	3学年
使用教科書	三省堂 『NEW CROWN 3』、東京書籍 『ENRICH LEARNING ENGLISH COMMUNICATION I』				
副教材等	文理 『中学必修テキスト英語3』、東京書籍 『ENRICH LEARNING ENGLISH COMMUNICATION I 本文学習ノート』、東京書籍 『ENRICH LEARNING ENGLISH COMMUNICATION I WORKBOOK』				

1 学習目標

<p>(1) 外国語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどを理解するとともに、これらの知識を、聞くこと、読むこと、話すこと、書くことによる実際のコミュニケーションにおいて活用できる技能を身に付けるようにする。</p> <p>(2) コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的话题や社会的な話題について、外国語で簡単な情報や考えなどを理解したり、これらを活用して表現したり伝え合ったりすることができる力を養う。</p> <p>(3) 外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。</p> <p style="text-align: center;">↓</p> <ul style="list-style-type: none"> ・CEFR-J A2.1 (英検準2級、GTEC 680点) レベル ・教科書の「Words」に出てくる語彙を日本語から英語に変えることができる。 ・教科書「基本文」に出てくる文を日本語から英語に変えることができる。 ・教科書の「GET」の「Speak」/「Talk」/「Write」の質問に対して3文程度の英文で答えることができる。 ・教科書の「USE Speak」及び「USE Write」、「Project」で、モデル以上の文量の英文を発信できる。
--

2 指導の重点

・英語を使うこと

3 評価規準と評価方法

	知識・技能 a	思考・判断・表現 b	主体的に学習に取り組む態度 c
評価の観点	[知識] 3年生で学ぶ言語材料のきまりに関する事項を理解している。 [技能] 3年生で学ぶ言語材料を活用して、日常的话题について、コミュニケーションを図る技能を身に付けている。	目的や場面、状況などに応じて、日常的话题について、コミュニケーションを行っている。	目的や場面、状況などに応じて、日常的话题について、コミュニケーションを行おうとしている。
評価方法	例) ・定期考査・小テスト・課題テスト ・パフォーマンステスト ・音読	例) ・定期考査 ・パフォーマンステスト	例) ・授業の取り組み ・課題・提出物 ・パフォーマンステスト ・小テスト・課題テスト ・スタディサプリ English

4 学習計画

月	単元名	授業時数	教材名	学習活動(指導内容)	評価の観点	評価方法
1学期中間	Lesson 1	20	Stand by Me	・音楽の持つ力 ・現在完了進行形	a b c	・定期考査 ・小テスト ・音読

	Lesson 2	20	Languages in India	・インドの言語と文化 ・受け身形	a b c	・定期考査 ・小テスト ・音読
1学期期末 (6・7・8・9月)	Lesson 3	20	The Story of Sadako	・広島原爆, 平和 ・後置修飾(動詞の-ing形/過去分詞)	a b c	・定期考査 ・小テスト ・音読
	Lesson 4	20	The World's Manga and Anime	・世界に広がった漫画とアニメ ・関係代名詞 主格 (that / which / who)	a b c	・定期考査 ・小テスト ・音読
2学期中間 (9・10・11月)	Lesson 5	19	I Have a Dream	・アメリカの公民権運動 ・関係代名詞 目的格 (that / which) / 接触節	a b c	・定期考査 ・小テスト ・音読
	Lesson 6	19	Imagine to Act	・空想する勇気, 行動する勇気 ・仮定法過去	a b c	・定期考査 ・小テスト ・音読
2学期期末 (11・12・1・2月)	Lesson 7	19	For Our Future	・中学生活の思い出, 英語を学ぶ意義 ・間接疑問/help + A + 動詞の原形	a b c	・定期考査 ・小テスト ・音読
	Unit 1	19	What can happen in one second?	[言語材料] 受け身/不定詞/動名詞 [言語活動] 1秒間にどのように世界が変化しているかを説明する。	a b c	・定期考査 ・小テスト ・音読
2・3月	Unit 2	19	What do superstitions mean to you?	[言語材料] 助動詞+受け身/現在完了進行形 [言語活動] 迷信についての自分の価値観を述べる。	a b c	・定期考査 ・小テスト ・音読

計 175 時間 (55 分授業)

5 課題・提出物等

・ 課題や提出物については、その都度指示します。

6 担当者からの一言

Please always try to use English in my English class. Using it is necessary to be a good English speaker. 私の英語の授業では、常に英語を使おうとしてみましよう。英語を上手に話すためには、英語を使うことが必須です。

(担当: 小林尚登)

7. 定期考査以外のテスト計画

月	単元名	評価方法	
1学期中間 (4・5月)	Lesson 1	Listening	Take Action! Listen 1
		Speaking	USE Speak / 音読
		Talking	Take Action! Talk 1
	Lesson 2	Listening	Take Action! Listen 2
		Speaking	Project 1 / 音読
		Talking	Take Action! Talk 2
その他	単語テスト		
1学期期末 (6・7・ 8・9月)	Lesson 3	Listening	Take Action! Listen 3
		Speaking	音読
		Talking	Take Action! Talk 3
	Lesson 4	Listening	Take Action! Listen 4
		Speaking	音読
		Talking	Take Action! Talk 4
その他	単語テスト		
2学期中間 (9・1 0・11月)	Lesson 5	Listening	Take Action! Listen 5
		Speaking	Project 2 / 音読
		Talking	USE Speak / Take Action! 5
	Lesson 6	Listening	Take Action! Listen 6
		Speaking	音読
		Talking	Take Action! Talk 6
その他	単語テスト		
2学期期末 (11・12・ 1・2月)	Lesson 7	Speaking	USE Speak / 音読
		Talking	Project 3
	Unit 1	Speaking	Unit Activity Presentation / 音読
	その他	単語テスト	
2・3月	Unit 2	Speaking	音読
	その他	単語テスト	

8. 単語テスト計画

1 st Term 1学期		2 nd Term 2学期	
Tuesday, April 23	3001-3050	Wednesday, October 16	2001-2100
Tuesday, April 30	3051-3100	Monday, October 28	2101-2200
Tuesday, May 07	3101-3150	Tuesday, November 12	2201-2300
Tuesday, May 14	3151-3200	Tuesday, December 03	2301-2400
Monday, May 20	3001-3050 (2)	Monday, December 16	2401-2500
Monday, June 10	3051-3100 (2)	Monday, January 06	2501-2547, 3001-3100 (3)
Wednesday, June 19	3101-3150 (2)	Monday, January 20	3101-3200 (3)
Monday, June 24	3151-3200 (2)	Monday, February 17	3201-3300 (3)
Monday, July 01	3201-3250	Monday, March 03	3301-3400 (3)
Monday, July 08	3251-3300	Tuesday, March 18	3401-3469 (3)
Tuesday, July 16	3301-3350		
Tuesday, July 23	3351-3400		
Tuesday, August 27	3201-3400 (2)		
Tuesday, September 17	3401-3450		
Tuesday, September 24	3451-3469		
Monday, September 30	3401-3469 (2)		

(英語コミュニケーションⅠ)

令和6年度シラバス

新潟市立高志中等教育学校

学 科	普通科				
教科名	英語コミュニケーションⅠ	単位数	3単位	学年	4 学年
使用教科書	ENRICH LEARNING English Communication I (東京書籍)				
副教材等	ENRICH LEARNING English Communication I 本文学習ノート / Workbook STANDARD (東京書籍) 総合英語 Ultimate (啓林館) / Data Base 3300 (桐原書店)				

1 学習目標

英語を通じて、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を育成するとともに、情報や考えなどを的確に理解したり適切に伝えたりする基礎的な能力を養う。

2 指導の重点

- ・聞いたことや読んだことを踏まえた上で話したり書いたりする言語活動を通じて、学習目標の達成を目指します。
- ・聞いたり読んだりした情報や考えなどを理解したり、その概要や要点をとらえ伝えたりするとともに、事実と意見などを区別して理解して伝えたり、情報や考えについて簡潔に書いたり、話し合ったり意見の交換をしたりします。

3 指導計画 計105時間(55分授業)

月	単元名	時数	主要学習領域	学習活動(指導内容) [評価]
	Unit 2	12	言語材料: 助動詞 + 受け身 / 現在完了進行形	題材内容: 機関誌の記事などを通して、様々な国や地域などで信じられている迷信について学ぶ 言語活動: 迷信について自分の価値観を述べる 言語の働き: 驚く/興味や関心を表す 評価活動: ラッキーアイテムの紹介文/U1,2で学んだことをもとに即興で話し合う [a, b, c]
5	Unit 3	12	言語材料: 分詞の形容詞用法/関係代名詞	題材内容: Eメールのやり取りなどを通して、ゼロ・ウェイスト政策について学ぶ 言語活動: 世界中で人々がどのようにゴミに関する問題に取り組んでいるかを説明する 言語の働き: 誘う/断る 評価活動: フォーマルなEメール作成 [a, b, c]
6	Unit 4	13	言語材料: 現在完了形の受け身/過去完了形	題材内容: 博物館のパンフレットなどを通して、ハワイ語やハワイ文化の歴史について学ぶ 言語活動: 自分にとって大切な言葉や文化について述べる 言語の働き: 迷いを伝える/アドバイスする 評価活動: 言葉や文化についてのスピーチ/U3,4で学んだことをもとに即興でプレゼンする、話す [a, b, c]
7	Unit 5	12	言語材料: SVOC(分詞) 関係副詞 how/助動詞の過去形	題材内容: ウェブの記事などを通して、自分が体験したことを聞き手に語る秘訣を学ぶ。 言語活動: 互いに話を伝え合う、理由を述べる。 言語の働き: 事実を伝える/援助を申し出る 評価活動: 体験したことのスピーチ [a, b, c]
8 9	Unit 6	6 7	言語材料: 分詞構文/関係副詞 where, when, why	題材内容: オンライン百科事典の伝記などを通して、優れたリーダーシップを持つ人物の経歴を学ぶ 言語活動: 優れたリーダーが備えている資質を説明する 言語の働き: 返答する/相づちを打つ 評価活動: 優秀だと思うリーダーの伝記の作成/U5,6で学んだことをもとに即興で伝える、描写する [a, b, c]
10	Unit 7	12	言語材料: 原形不定詞/仮定法過去完了/過去完了進行形	題材内容: 英字新聞の記事などを通して、今住んでいる場所を選んだ理由やそこの暮らしの魅力について学ぶ 言語活動: 人々がどのような理由で住む場所を決めているのかを説明する 言語の働き: 反論する/同意する 評価活動: 将来住みたい場所についてのエッセイ [a, b, c]
11	Unit 8	12	言語材料: 関係代名詞 what/関係代名詞の非制限用法	題材内容: ウェブの記事などを通して、世界中の様々な成人の儀式について学ぶ 言語活動: 日常生活について、外国のティーンエイジャーと自分の類似点や相違点を説明する 言語の働き: 習慣を表す/共感する 評価活動: 外国の高校生の生活についてのプレゼンテーション/U7,8で学んだことをもとに即興で語る。 [a, b, c]
12	Unit 1 ~8	10	言語材料: Unit 1~8で学んだ語彙・文法事項	各ユニットの題材について、適切に概要や要点をとらえ、考えを伝え合う。 言語活動: 内容を把握し、情報や考えについて簡潔に書く。内容を把握し、情報や考えについてまとめ、発表する。 [a, b, c]
1	OR1	5	ディスカッション	題材内容: 雇い主の指示を読み違え、勘違いの行動をとってしまう愉快なハウスキーパーの物語。登場人物の行き違いを読み取る。 [a, b, c]
2	Unit 1~8	9		題材内容: 電話がまだ珍しかった時代、当時子供だった語り手と親しい電話交換手の心の交流を描く感動物語。登場人物の心情を読み取る。読み物に対する自分の考えを述べる。 [a, b, c] 言語活動: 読んだ内容について、習ったパターンやつなぎの言葉を使い意見交換をし。
3	Unit 1~8	6	ディベート	題材内容: 身近で社会的な話題について、トピックを題材とした新聞記事を読み、語り手と交換手の心の交流を描く感動物語。登場人物の心情を読み取る。 [a, b, c] 言語活動: 読んだ内容に関する自分の意見を即興で話す。また異なる意見を受け、それに対する適切な理由を付けて、自らの意見を主張する。 [a, b, c]

4 課題・提出物

・課題や提出物については、その都度指示します。

5 評価の観点・内容・評価方法

〔評価規準〕 評価は次の3観点で行います。

a 知識・技能	b 思考・判断・表現	c 主体的に学習に取り組む態度
英語やその運用についての知識を身に付け、運用できるとともに、言語の背景にある文化などを理解している。	英語を聞いたり読んだりして、情報や考えなどを的確に理解し、英語で話したり書いたりして、情報や考えなどを適切に伝えている。	コミュニケーションに関心をもち、積極的に言語活動を行いコミュニケーションを図ろうとしている。評価活動の準備に自立して取り組んでいる。

〔評価方法〕 読むこと、聞くこと、書くこと、話すこと（やりとり、発表）の5技能について、定期考査と評価活動やパフォーマンステストにより評価します。またリスニング教材を導入し、適切にリスニングテストなどを行って、聞く力を評価します。評価活動とパフォーマンステストには、プレゼンテーションやリテリングなどの「発表」と情報や考えなどを伝え合う「やり取り」や、主題に対して簡潔に自分の考えをまとめて書くことを含みます。

(論理・表現 I)

令和6年度シラバス

新潟市立高志中等教育学校

学 科	普通科				
教科名	論理・表現 I	単位数	2 単位	学年	4 学年
使用教科書	Advanced Vision Quest English Logic and Expression I (啓林館)				
副教材等	教科書準拠ワークブック (啓林館)				

1 学習目標

「話すこと(やり取り)」「話すこと(発表)」「書くこと」を中心とした統合的な言語活動を通して、コミュニケーションを図るために必要な発信能力を育成するとともに、論理の構成や展開を考察することで、情報や考えなどを論理的に工夫しながら伝える能力を養う。

2 指導の重点

- ・聞いたことや読んだことを踏まえた上で話したり書いたりする言語活動を通じて、学習目標の達成を目指す。
- ・与えられた話題について、即興で話したり、聞き手や目的に応じて論理の構成や展開を工夫しながら話せるようにする。また、読み手や目的に応じて論理の構成や展開を工夫しながら書いたり、伝え合ったりできるようにする。

3 評価規準と評価方法

〔評価規準〕 評価は次の3観点で行います。		
①知識・技能	②思考・判断・表現	③主体的に学習に取り組む態度
英語やその運用についての知識を身に付けているとともに、言語の背景にある文化などを理解している。	事実や意見などを多様な観点から考察し、論理の展開や表現の方法を工夫しながら英語で伝えている。	コミュニケーションに関心をもち、積極的に言語活動を行い、コミュニケーションを図ろうとしている。
〔評価方法〕 特に書くこと、話すことの2技能について、定期考査とパフォーマンステストにより評価します。パフォーマンステストには、プレゼンテーションやリテリングなどの「発表」と情報や考えなどを伝え合う「やり取り」や、主題に対して簡潔に自分の考えをまとめて書くことを含みます。		

4 指導計画

月	単元名	時数	教材	主要学習領域	学習活動(指導内容)
				読むこと、聞くこと 書くこと 話すこと(発表) 話すこと(やり取り)	【年間を通じた共通指導内容】 筆者の意向や心情などを考えて、適切に概要や要点をとらえる。 内容を把握し、情報や考えについて論理の構成や展開を工夫して書く。 内容を把握し、情報や考えについて論理の構成や展開を工夫してまとめ、発表する。 意見や主張を論理の構成や展開を工夫して考えを伝え合う。
4	Unit 1	5	教科書 (LEI)	主な言語材料: 文の種類	自分やパートナーのクラブ活動について発表する。(発表) 学校の規則や好きな科目について書いて伝える。
5	Unit 2	5		主な言語材料: 文型と動詞	文化祭に行く予定について話し合う。(やり取り) 日常生活や自分の部屋について書いて説明する。
6	Unit 3	6		主な言語材料: 時制	過去にいった旅行の経験について話して伝える。(発表) 週末したことや来月の予定について書いて伝える。
7	Unit 4	6		主な言語材料: 完了形	スポーツや音楽の経験について話して伝え合う。(やり取り) 訪れたことのある場所や初めて経験したことについて書いて伝える。
8	Unit 5	5		主な言語材料: 助動詞	将来の夢について伝え合う。(やり取り) 家のルールや子供の頃のこと、いつかやりたいことについて書く。
9	Unit 5 Unit 6	10		主な言語材料: 受動態	最近買ったものについて伝える。(やり取り) 好きな小説や最近驚いたことについて書く。
10	Unit 7	5		主な言語材料: 不定詞	受け取った贈り物について詳細に伝え合う。(やり取り) 自分の夢、高校生にとって一番大切なことについて、書く。
11	Unit 8	6		主な言語材料: 動名詞	スポーツをすることの利点や自分自身のことについて話して伝える。(発表) 好きなスポーツや活動、日本人の一般的な特徴について書いて伝える。
12	Unit 9	5		主な言語材料: 分詞	自分自身や自身の性格について話して伝える。(発表) 家族や友だちと撮った写真や日本人の一般的な特徴について書いて伝える。
1	Unit 10	6		主な言語材料: 関係詞	日本の文化や遊び、人物について、話して伝える。(発表) 家族や友だちの紹介やあなかが今必要としていること、住みたい場所について書く。
2	Unit 11	6		主な言語材料: 比較	世界の男女格差の問題について伝え合う。(やり取り) 最も幸せを感じるときについて書いて伝える。
3	Unit 12	5		主な言語材料: 仮定法	日本の社会問題について自分の意見を話して伝える。(発表) 自分や家族のための願い事について書いて伝える。

(総時数70時間)

4 課題・提出物

- ・課題や提出物については、その都度指示します。習得した知識や技能を活用して、英語で自己表現をする機会を設けます。

(英語コミュニケーションⅡ)

令和6年度シラバス

新潟市立高志中等教育学校

学 科	普通科				
教科名	英語コミュニケーションⅡ	単位数	4単位	学年	5 学年
使用教科書	ENRICH LEARNING English Communication II (東京書籍)				
副教材等	ENRICH LEARNING English Communication II 本文学習ノート / Workbook 東京書籍 総合英語 Ultimate (啓林館) / Data Base 3300 (桐原書店) ほか				

1 学習目標

英語を通じて、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を育成するとともに、情報や考えなどを的確に理解したり適切に伝えたりする基礎的な能力を養う。

2 指導の重点

- ・聞いたことや読んだことを踏まえた上で話したり書いたりする言語活動を通じて、学習目標の達成を目指します。
- ・聞いたり読んだりした情報や考えなどを理解したり、その概要や要点をとらえ伝えたりするとともに、事実と意見などを区別して理解して伝えたり、情報や考えについて簡潔に書いたり、話し合ったり意見の交換をしたりします。
- ・自分と異なる意見を尊重し、自分の意見を英語で表現する力をつけることを目指します。

3 学習計画

月	単元名	教材	主要学習領域	学習活動 (指導内容)
			読むこと、聞くこと 書くこと 話すこと (やりとり) 話すこと (発表)	【年間を通じた共通指導内容】 各ユニットの題材について、適切に概要や要点をとらえる。 内容を把握し、情報や考えについて簡潔に書く。 内容に基づいて、考えを伝え合う。 内容を把握し、情報や考えについてまとめ、発表する。
4	Unit 1	教科書 (ECⅡ)	言語材料: 助動詞+完了形/不定詞の意味上の主語	題材内容: モアの絶滅の歴史を知るとともに、危機に瀕する動物について学び、保護のためにできることを考える 言語活動: 絶滅の危機に瀕している動物の特徴や生態などについて説明する 言語の働き: 勧める/理解や納得を示す 評価活動: 絶滅危惧種についてのプレゼンテーション
5	Unit 2		言語材料: 受け身の不定詞/助動詞doによる強調	題材内容: eスポーツの特徴を理解し、伝統的なスポーツとの違いや、スポーツとは何かを考える 言語活動: ある論題について、主調と根拠を明確にしながら、ディベートを行う 言語の働き: 勧誘する/断る 評価活動: eスポーツについてのディベート
6	Unit 3		言語材料: 先行詞を含む関係副詞/否定語の倒置	題材内容: 多様な食習慣の背景にある文化や、地球環境への影響について知る 言語活動: レストランのレビューや、ほかのレビューへのコメントを書く 言語の働き: 提案する/説得する/妥協する 評価活動: レストランのレビューとコメント
7	Unit 4		言語材料: 強調構文/関係副詞の非制限用法	題材内容: ペニシリンの発明に至る経緯と、後世に与えた影響について理解する 言語活動: 有益だと思ふ発明品について説明する 言語の働き: 想像したことを伝える/相手の考えを聞く 評価活動: 発明についてのプレゼンテーション
8	Unit 5		言語材料: 接続詞+分詞/完了不定詞	題材内容: 若者が旅行をすることの意義と問題点を読み取り、「ギャップ・イヤー」という仕組みへの賛否を考える 言語活動: 「ギャップ・イヤー」への賛成・反対の意見とその理由を説明する 言語の働き: 希望を伝える 評価活動: ギャップ・イヤーについてのエッセイ
9				
10	Unit 6		言語材料: 部分否定	題材内容: 性格が振る舞いに及ぼす影響について理解する。性格の分析を通して、多様性についても考える 言語活動: 性格が振る舞いに及ぼしている影響について説明する 言語の働き: 誘いを受け入れる/うまく誘いを断る 評価活動: アンケート結果についてのグループプレゼンテーション
11	Unit 7		言語材料: 受け身の進行形/be動詞+不定詞	題材内容: 日本やアメリカの紙幣の顔となる人物について知り、紙幣を上げるべき人物について考える 言語活動: 紙幣を上げるべき人物について意見を述べ合う 言語の働き: 自分について伝える 評価活動: 紙幣の肖像についてのグループディスカッション
12	Unit 8		言語材料: 複合関係副詞	題材内容: フェイクニュースの歴史や見分け方について学び、あるニュースの真偽を考察する 言語活動: あるニュースの真偽について意見を述べ合う 言語の働き: 話題を発展させる/いきさつを説明する 評価活動: 記事についてのディスカッション
1	Unit 9		言語材料: 過去の習慣	題材内容: 仕事を選ぶ際に重要なことをについて理解する。仕事を選ぶ理由やその仕事への適性についても考える 言語活動: ある仕事を選ぶ理由やその仕事への適性を伝え合う 言語の働き: 将来したい仕事をたずねる、伝える 評価活動: 就職面接のロールプレイ
2	Unit10	言語材料: 未来進行形/未来完了形	題材内容: 学校を改善するための提案とそれに対する反論を理解する 言語活動: ディスカッションを通して考えを深め、効果的にプレゼンテーションをする 言語の働き: 助言を求め、与える 評価活動: 学校の改善案についてのディスカッションと発表	

3	Active Reading1,2	Unit1～10の復習	<p>題材内容1:「赤ずきん」の真相を、オオカミが語る物語。異なる視点からストーリーを読み取る。</p> <p>題材内容2:飛行機のトラブルのようで、どこか奇妙な乗務員や乗客の様子が描かれるSF短編。意外な結末を読み取る。</p>
---	-------------------	-------------	---

4 課題・提出物

・課題や提出物については、その都度指示します。

5 評価規準と評価方法

〔評価規準〕 評価は次の3観点で行います。		
①知識・技能	②思考・判断・表現	③主体的に学習に取り組む態度
英語やその運用についての知識を身に付け、運用できるとともに、言語の背景にある文化などを理解している。	英語を聞いたり読んだりして、情報や考えなどを的確に理解し、英語で話したり書いたりして、情報や考えなどを適切に伝えている。	コミュニケーションに関心を持ち、積極的に言語活動を行い、コミュニケーションを図ろうとしている。評価活動の準備に自立して取り組んでいる。
〔評価方法〕 「読むこと」「聞くこと」「書くこと」「話すこと(やりとり、発表)」の5技能について、定期考査、小テスト、評価活動等により評価します。評価活動(パフォーマンステスト)には、プレゼンテーションやリテリングなどの「発表」と情報や考えなどを伝え合う「やり取り」や、主題に対して簡潔に自分の考えをまとめて書くことを含みます。		

(論理・表現Ⅱ)

令和5年度シラバス

新潟市立高志中等教育学校

学 科	普通科				
教科名	論理・表現Ⅱ	単位数	2 単位	学年	5 学年
使用教科書	Vision Quest English Logic and Expression II Ace (啓林館)				
副教材等	教科書準拠ワークブック (啓林館)				

目標

「話すこと(やり取り)」「話すこと(発表)」「書くこと」を中心とした統合的な言語活動を通して、発信能力を強化するための発展的な活動を行うとともに、論理の構成や展開を工夫して詳しく伝えたり、伝え合ったりすることができる能力を養う。

2 指導の重点

- ・聞いたことや読んだことを踏まえた上で話したり書いたりする言語活動を通じて、学習目標の達成を目指す。
- ・与えられた話題について、即興で話したり、聞き手や目的に応じて論理の構成や展開を工夫したりしながら話せるようにする。また、読み手や目的に応じて論理の構成や展開を工夫しながら書いたり、伝え合ったりできるようにする。
- ・身近な話題について、簡単なやり取りをしたり、自分のことについて英語で表現したりできることを目指す。

3 評価規準と評価方法

	評価は次の観点から行います。		
	知識・技能 a	思考・判断・表現 b	主体的に学習に取り組む態度 c
評価の観点	<ul style="list-style-type: none"> ・外国語の学習を通じて、言語の働きや役割などを理解している。 ・外国語の技能(話すこと・書くこと)について、実際のコミュニケーションにおいて活用できる知識・技能を身に付けている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・場面・目的・状況等に応じて、日常的や社会的な話題について、情報や考えなどを外国語での確に理解したり適切に伝えあったりしている。 ・自分の意見や考えなどを話したり書いたりして表現している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・他者を尊重し、聞き手・読み手・放し手・聞き手に配慮しながら、外国語で聞いたり読んだりしたことを活用して、自分の意見や考えなどを話したり書いたりして表現しようとしている。
評価方法	<ul style="list-style-type: none"> 以上の観点を踏まえ、 ・定期考査の分析 ・小テストの取り組み ・ワークシート、提出物 などから、評価します。 	<ul style="list-style-type: none"> 以上の観点を踏まえ、 ・定期考査の分析 ・授業中の発言、発表や討論への取り組みの観察 ・課題やワークシートの内容の確認 などから、評価します。 	<ul style="list-style-type: none"> 以上の観点を踏まえ、 ・授業中の発言、発表や討論への取り組みの観察 ・ワークシート、提出物などの内容の確認 ・振り返りシートの分析 などから、評価します。

4 学習計画

月	単元名	授業時数	教材名	学習活動(指導内容)	評価の観点	評価方法
			教科書・ワーク・ワークシート	【年間を通じた共通指導内容】 ・聞いたり読んだりしたこと、学んだことや経験したことに基づき、情報や考えをまとめ、発表する。 ・内容を把握し、情報や考えについて論理の構成や展開を工夫して書く。 ・与えられた話題について、即興で話す。	a, b, c	<ul style="list-style-type: none"> ・定期考査の分析 ・小テストの取り組み ・ワークシート、提出物 ・定期考査の分析 ・授業中の発言、発表や討論への取り組みの観察 ・課題やワークシートの内容の確認
4	Unit 1	4	教科書・ワーク・ワークシート	自分の目標と達成のために必要なことについて、文と文のつながりを意識して書いて伝える。(書くこと)	a, b, c	<ul style="list-style-type: none"> ・小テストの取り組み ・ワークシート、提出物 ・定期考査の分析 ・授業中の発言、発表や討論への取り組みの観察 ・課題やワークシートの内容の確認
5	Unit 2	6	教科書・ワーク・ワークシート	自分の高校の行事について紹介する文章を、パラグラフの構成に意識して詳しく書いて伝える。(書くこと) 即興のインタビューで質問したり、答えたりする。(やり取り)	a, b, c	<ul style="list-style-type: none"> ・小テストの取り組み ・ワークシート、提出物 ・定期考査の分析 ・授業中の発言、発表や討論への取り組みの観察 ・課題やワークシートの内容の確認
6	Unit 3	6	教科書・ワーク・ワークシート	スポーツの歴史について書かれた文章を読んで、時を表す表現の概念を理解する。 好きなアスリートと実績について、パラグラフの構成に意識して詳しく書いて伝える。(書くこと)	a, b, c	<ul style="list-style-type: none"> ・小テストの取り組み ・ワークシート、提出物 ・定期考査の分析 ・授業中の発言、発表や討論への取り組みの観察 ・課題やワークシートの内容の確認
7	Unit 4	6	教科書・ワーク・ワークシート	ソーシャルメディアの利点と欠点の比較について、パラグラフの構成に意識して、自分の意見や主張を書いて伝える。(書くこと) 会話に必要な語句や表現を用いて、互いに交渉しながら会話を進める。(やり取り)	a, b, c	<ul style="list-style-type: none"> ・小テストの取り組み ・ワークシート、提出物 ・定期考査の分析 ・授業中の発言、発表や討論への取り組みの観察 ・課題やワークシートの内容の確認

8	Unit 5	2	教科書・ワーク・ワークシート エネルギーの使いすぎによって引き起こされる問題について、自分の意見や主張を書いて伝える。(書くこと)	a, b, c	・小テストの取り組み ・ワークシート, 提出物 ・定期考査の分析 ・授業中の発言, 発表や討論への取り組みの観察 ・課題やワークシートの内容の確認
9	Unit 6	8	教科書・ワーク・ワークシート 訪れたい国とその国の文化について、自身の主張や理由の根拠を示して、詳しく書いて伝える。 事実と意見の違いを理解して正確に説明し、話して伝える。(発表)	a, b, c	・小テストの取り組み ・ワークシート, 提出物 ・定期考査の分析 ・授業中の発言, 発表や討論への取り組みの観察 ・課題やワークシートの内容の確認
10	Unit 7	8	教科書・ワーク・ワークシート 日本の第二公用語としての英語の導入の賛否に関する記事を読んで、文章全体の概要と構成を理解し、まとめる。(書くこと)	a, b, c	・小テストの取り組み ・ワークシート, 提出物 ・定期考査の分析 ・授業中の発言, 発表や討論への取り組みの観察 ・課題やワークシートの内容の確認
11	Unit 8	6	教科書・ワーク・ワークシート 日本の社会の問題点について書かれた文章を読んで、直接話法と間接話法を用いて表した文の構造を理解する。 異なる労働条件に対する意見や主張を理解し、その条件や特徴を伝え説得したり、妥協したりして話して伝え合う。(やり取り)	a, b, c	・小テストの取り組み ・ワークシート, 提出物 ・定期考査の分析 ・授業中の発言, 発表や討論への取り組みの観察 ・課題やワークシートの内容の確認
12	Unit 9	6	教科書・ワーク・ワークシート もし億万長者になったら何をするかについて、自分の考えや主張をまとめたり、クラスメートと話して伝え合ったりして、スピーチの原稿を作成する。(発表)	a, b, c	・小テストの取り組み ・ワークシート, 提出物 ・定期考査の分析 ・授業中の発言, 発表や討論への取り組みの観察 ・課題やワークシートの内容の確認
1	Unit 10	6	教科書・ワーク・ワークシート AI とともに働くときに重要なことについて、自分の考えやその根拠を示す情報を調べるなどして、クラスに話して伝えるために、プレゼンテーションの原稿を作成する。(書くこと)	a, b, c	・小テストの取り組み ・ワークシート, 提出物 ・定期考査の分析 ・授業中の発言, 発表や討論への取り組みの観察 ・課題やワークシートの内容の確認
2	Unit 11	6	教科書・ワーク・ワークシート 「7時間以上の睡眠を取るべきか」という議題について、賛否の意見を考え、詳しく書いてまとめる。 ディベートのルールや手順、構成を理解して、チームと協力しながら自分の役割に応じて主張を話して伝え合う。(やり取り)	a, b, c	・小テストの取り組み ・ワークシート, 提出物 ・定期考査の分析 ・授業中の発言, 発表や討論への取り組みの観察 ・課題やワークシートの内容の確認
3	Unit 12	6	教科書・ワーク・ワークシート 商品の販売について書かれた文章を読んで、否定を表す表現を用いた文の構造を理解する。(読むこと) 新しい健康食品を検討し、様々な観点から集めた情報をまとめ、クラスに提案を話して伝える。(やり取り・発表)	a, b, c	・小テストの取り組み ・ワークシート, 提出物 ・定期考査の分析 ・授業中の発言, 発表や討論への取り組みの観察 ・課題やワークシートの内容の確認

計70時間(55分授業)

5 課題・提出物

・課題や提出物については、その都度指示します。習得した知識や技能を活用して、英語で自己表現をする機会を設けます。

6 担当者からの一言

外国語で物事を考えるとき、筋道を立てたり、パラグラフの構成を意識したりしながら伝えることは国際コミュニケーションの中で非常に重要です。昨年度の論理・表現Ⅰの知識も活用しながら、より習熟させていきましょう。

(担当：赤塚 暁)

(洋)

教科（科）	外国語（英語コミュニケーションⅢ）	単位数	4単位	学年	6 学年
使用教科書	東京書籍 「ENRICH LEARNING ENGLISH COMMUNICATION III」				
副教材等	東京書籍 「ENRICH LEARNING ENGLISH COMMUNICATION III Workbook」 数研出版 「必携英単語 LEAP」				

1 学習目標

英語を通じて積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を育成するとともに、必要な支援を他者に求めたり協働したりしながら、多様な語句や文を目的や場面、状況に応じて適切に使って、情報や考え、気持ちなどを論理的に詳しく話したり書いたりして伝える又は伝えあう能力を養う。具体的な活動と領域は以下のとおり。

A 「話すこと」[やり取り][発表]

日常的・社会的な話題について、聞いたり読んだりしたことを基に、情報や考え、課題の解決策などを論理的に詳しく話して伝えることができるようにする。

B 「読むこと」「聞くこと」

日常的・社会的な話題について、必要な情報を読み取り、文章の展開や書き手の意図を把握しながら、概要や要点、詳細を目的に応じて捉えることができるようにする。

C 「書くこと」

日常的・社会的な話題について、情報や考え気持ちなどを複数の段落から成る文章で論理的に詳しく書いて伝えることができるようにする。

2 指導の重点

大学進学等の生徒の進路希望実現のための実践力育成と英語によるコミュニケーション力の育成の観点から

- ①自己表現や読解力の基盤となる語彙を増やし、確実に習得することを目指す。
- ②自分と異なる意見を尊重しながら、自分の意見を英語で表現する力をつけることを目指す。
- ③教科書の英文を読んで、教科書の要約を本文の表現や既習の表現を使って簡潔に表現することを目指す。
- ④上記①～③の力をつけることによって、GTECや模擬試験といった外部評価にも対応できる学習者を目指す。

3 評価規準と評価方法

評価は次の観点から行います。			
	知識・技能 a	思考・判断・表現 b	主体的に学習に取り組む態度 c
評価の観点	英語やその運用についての知識を身に付け、運用できるとともに、言語の背景にある文化などを理解している。	英語を聞いたり読んだりして、情報や考えなどを的確に理解し、英語で話したり書いたりして、情報や考えなどを適切に伝えている。	コミュニケーションに関心をもち、積極的に言語活動を行い、コミュニケーションを図ろうとしている。評価活動の準備に自立して取り組んでいる。
評価方法	以上の観点を踏まえ、 ・定期考査・課題テスト ・授業の取り組み ・パフォーマンス活動 ・課題提出状況 ・ワークシート などから評価します。	以上の観点を踏まえ、 ・定期考査・課題テスト ・授業の取り組み ・パフォーマンス活動 ・課題提出状況 ・ワークシート などから評価します。	以上の観点を踏まえ、 ・定期考査 ・授業の取り組み ・パフォーマンス活動 ・課題提出状況 ・ワークシート などから評価します。

4 学習計画

月	単元名	授業時数と領域	教材名	学習活動（指導内容）	評価の観点	評価方法
4	Unit 1	11 [A][B]	What thinking and study habits can help us succeed?	・オンライン科学雑誌の記事から方法を読み取る。 ・Role Play：悩み相談のロールプレイ。 ・文構造	b,c b,c a	
5	Unit 2	12 [B][C]	How can we use AI to improve education?	・大学のウェブサイトの記事から時系列と過程を読み取る。 ・Writing：AIと教育に関するエッセイ ・関係副詞、分詞構文	b,c b,c a	・課題考査 ・定期考査 ・小テスト
6	Unit 3	12 [A][B]	What do folktales tell us about human values?	・ウェブの記事から要点を読み取る。 ・Oral Storytelling：民話のストーリーテリング ・分詞	b,c b,c a	・授業の取り組み ・発表活動
7	Unit 4	11 [A][B]	What items would you place in a time capsule?	・ウェブのニュース記事から詳しい特徴や描写を読み取る。 ・Pyramid Discussion：タイムカプセルに関するディスカッションと発表 ・倒置、複合関係代名詞	b,c b,c a	・課題提出状況 ・ワークシート
8	Unit 5	12 [B][C]	What are the rewards and challenges of living in a different culture?	・本のショッピングサイトから本の情報を読み取る、抜粋を読む。 ・Writing：海外で暮らすことについてのエッセイ	b,c	
9				・仮定法	b,c a	
10	Unit 6	24 [A][B]	How can art be made accessible to all?	・イベントの紹介記事から特徴を読み取る。 ・Discussion：芸術作品についてのディスカッション。 ・口語表現、挿入	b,c b,c a	・課題考査 ・定期考査 ・小テスト

11						
12	Unit 7	22 [B][C]	How can we preserve life below water?	<ul style="list-style-type: none"> 環境保全団体ウェブサイトの記事から経緯と因果関係を読み取る。 Writing: 身近な魚についてのレポート。 名詞構文 	b,c	<ul style="list-style-type: none"> 授業の取り組み 発表活動 課題提出状況 ワークシート
1						
2	Unit 8	24 [A][B]	Is there anything money can't buy?	<ul style="list-style-type: none"> スポーツに関するウェブサイトの記事を読み、主張とその根拠や具体例を読み取る。 Group Discussion: 学校の命名権についてのグループディスカッション。 	b,c	
3						

計128時間 (55分授業)

5 課題・提出物

- 小テストの実施計画、振り返りシートの提出については、その都度指示します。
- 長期休業中の課題は別途指示します。

6 担当者からの一言

この科目では、さまざまなテキストジャンルの英文を読みながら、4技能をバランスよく育成していきます。英語を学ぶことによって、他者を理解、尊重し、それを踏まえて主体的に深く考え、自分の意見を積極的に英語で自己表現していきましょう。(担当: 関 真人)

教科(科目)	外国語 (英語探究)	単位数	2 単位	学年	6 学年
使用教科書	啓林館『Vision Quest English Logic and Expression II Ace』 啓林館『Vision Quest English Logic and Expression I Advanced』				
副教材等	啓林館『Vision Quest English Logic and Expression II Ace WORKBOOK』 数研出版『入試必携英作文 Write to the Point』				

1 学習目標

<p>英語を通じて、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を育成するとともに、事実や意見などを多様な観点から考察し、論理の展開や表現の方法を工夫しながら伝える能力を養う。具体的な活動と領域は以下の通り。</p> <p>A 「話すこと〔やり取り〕〔発表〕」 日常的・社会的な話題について、聞いたり読んだりしたことを活用しながら、情報や考えなどを話して伝え合ったり、意見や主張などの論理の構成や展開を工夫して伝えることができるようにする。</p> <p>B 「読むこと」「聞くこと」 様々な資料から情報を的確に読み取り、概要や論点を整理して表現できるようにする。また、聞き取った内容について、学んだことや経験に基づき、話し合ったり意見を交換したりする。</p> <p>C 「書くこと」 基本的な語句や文を用いて、読み手を説得することができるよう論理の構成や展開を工夫して文章を書いて伝えることができるようにする。</p>

2 指導の重点

<p>①基本的な文法事項の習得を目指します。 ②文法事項を理解した上で、既習の文型や文法を使って身近な話題について英語で表現することを目指します。 ③身近な話題な話題について、簡単なやりとりをしたり、自分のことについて英語で話すことを目指します。 ④活動を通して、積極的に他者とコミュニケーションを図る態度を育てます。</p>

3 評価規準と評価方法

	評価は次の観点から行います。		
	知識・技能 a	思考・判断・表現 b	主体的に学習に取り組む態度 c
評価の観点	外国語の学習を通じて、言語の働きや役割などを理解している。 外国語の技能 (話すこと・書くこと) について、実際のコミュニケーションにおいて活用できる知識・技能を身に付けている。	場面・目的・状況等に応じて、日常的や社会的な話題について、情報や考えなどを外国語で的確に理解したり適切に伝え合ったりしている。 聞いたり読んだりしたことなどを活用して、自分の意見や考えなどを話したり書いたりして表現している。	他者を尊重し、聞き手・読み手・話し手・書き手に配慮しながら、外国語で聞いたり読んだりしたことを活用して、自分の意見や考えなどを話したり書いたりして表現しようとしている。
評価方法	以上の観点を踏まえ、 ・ 定期考査の分析 ・ 小テストの取り組み ・ ワークシート、提出物などの内容の確認 などから、評価します。	以上の観点を踏まえ、 ・ 定期考査の分析 ・ 授業中の発言、発表や討論への取組の観察 ・ 課題やワークシート、提出物などの内容の確認 などから、評価します。	以上の観点を踏まえ、 ・ 授業中の発言、発表や討論への取組の観察 ・ ワークシート、提出物などの内容の確認 ・ 振り返りシートの記述の分析 などから、評価します。

4 学習計画

月	単元名	授業時数と領域	教材名	学習活動(指導内容)	評価の観点	評価方法
4月	Activity 1	5 [A]	Interview—インタビュー	<p>【話題】 Dreams.</p> <p>【文法】 主語の決定 (1)</p> <p>【表現】 インタビュー【話すこと (やり取り)】: 設定された目的・場面・状況と、会話に必要な語句や表現を理解し、即興のインタビューで質問したり、答えたりする。</p>	c a a, b, c	定期考査 小テスト 授業の取り組み 発表活動
5月	Activity 2	5 [A]	Negotiation—交渉	<p>【話題】 Social Media</p> <p>【文法】 主語の決定 (2)</p> <p>【表現】 交渉【話すこと (やり取り)】: 設定された異なる立場の意見や主張を理解し、会</p>	c a a, b, c	パフォーマンス 課題提出状況

				話しに必要な語句や表現を用いて、お互いに交渉しながら会話を進める。		
6月	Activity 3	6 [A][B]	Fact and Opinion—事実と意見	話題 Global Issues 文法 目的の表現 表現 事実と意見【話すこと(発表)】: 地理の授業で地球規模問題について発表するために、事実と意見の違いを理解して正確に説明し、話して伝える。	c a a, b, c	
7月	Activity 4	8 [A]	Compromise — 妥協	話題 Working Conditions 文法 理由の表現 表現 妥協【話すこと(やり取り)】: 設定された異なる労働条件に対する意見や主張を理解し、話しに必要な語句や表現を用いて、それぞれの条件や特徴を伝え説得したり、妥協したりして話して伝え合う。	c a a, b, c	定期考査 小テスト 授業の取り組み 発表活動
8月						
9月	Activity 5	6 [A][C]	Research — リサーチ	話題 Invention and Technology 文法 時制(1)(2) 表現 リサーチ【書くこと/話すこと(発表)】: 歴史の授業で、技術の進歩について発表するために、自分の意見や主張の適切な根拠や具体例を調べる。	c a a, b, c	パフォーマンス 課題提出状況
10月	Activity 6	8 [C]	Planning—企画	話題 Marketing 文法 動詞の語法 表現 企画【書くこと/話すこと(やり取り・発表)】: 食品会社の社員であるという設定のもとに、スーパーで販売する新しい健康食品を検討し、様々な観点から集めた情報をまとめ、クラスに提案を話して伝える。	c a a, b, c	定期考査 小テスト 授業の取り組み 発表活動
11月	Option 5	6 [B][C]	要点・要約① リーディングの要約	話題 mountain climbing / compliments 文法 関係代名詞・関係副詞 論理 文章全体の構成と要点・要約をまとめる手順を理解する。	c a a, b, c	パフォーマンス 課題提出状況
12月	Option 6	6 [B][C]	要点・要約② リスニングの要約	話題 Together in Giving / Cats and Dogs / Robots 文法 時間の表現 論理 聞き取った内容について、文章全体の構成と要点・要約をまとめる手順を理解する。	c a a, b, c	
1月	Option 7	6 [A][B]	プレゼンテーション	話題 Key Societal Values in the EU / SNS 文法 仮定・条件の基本 / 仮定条件の応用 表現 プレゼンテーションについて、全体の概要と構成を理解し、まとめる。また、聞いた内容についてペアやグループで議論する。	c a a, b, c	定期考査 小テスト 授業の取り組み
2月	Option 8	7 [A]	ディスカッション	話題 Should cell phones be prohibited in School? / Campaign to promote tourism 文法 比較の基本 / 比較の応用 論理 ディスカッション【話すこと(やり取り)】: ディスカッションのテーマについて、自分の考えや主張を述べたり、グループのメンバーの意見をまとめたりして、お互いに建設的な意見を話して伝え合う。	C a a, b, c	発表活動 パフォーマンス 課題提出状況
3月	Option 9	7 [A]	ディベート	話題 Solar energy / Women should compete against men in sports. 文法 譲歩の表現 論理 ディベート【話すこと(やり取り)】: ディベートのルールや手順、構成を理解して、チームと協力しながら、自分の役割に応じて、主張を話して伝え合う。	c a a, b, c	

計 70 時間(55分授業)

5 課題・提出物等

- ・ 授業の予習復習状況は学期ごとに提出物で点検します。
- ・ 単元ごとに、教科書の題材で意見交換、自己表現活動をします。
- ・ 長期休業中の課題は別途指示します。

6 担当者からの一言

これまで習ってきた文法事項をもう一度復習し、正しく伝えるようにしていきましょう。また、英語でやり取りをしたり自分の考えを表現したりしながら、自己表現力を高めていきます。参考書や辞書を最大限活用し学習を進めながら、積極的に書いたり話したりしましょう。

(担当：田中 涼子)